

2019・1・10

於・如水会館

「楽宴会」とは一橋大学昭和37年卒の同期が毎月各々のテーマで、約1時間スピーチをして親睦を図る会である。因みに第一回は私が「日本百名城」の演題で幕を切って落とした。その関係で、記念すべき101回も私がさせてもらった。

第101回楽宴会演目 「神社アラカルト」 レジメ

遠藤 晶土（Tクラス 高橋泰蔵先生ゼミ）

今までに数回転居したが、どこでも近所に土地の氏神を祭る神社があった。藤沢の白旗神社。横浜の杉山神社。所沢の物部天神社。そして、現在の吉川市の蕎高神社。

いずれも、祭日や初詣で以外は人影まばら、宮司も勿論常駐していない。

にも拘らず、神社たちはひっそりと数百年の歴史を秘めて佇んでいる。誰が、いつから、どのように維持しているか？その資金繰りはどうなっているのか？興味を持ち続けている。

が、解らない。神社は解らないことだらけだ。解らなくてもよい。神社は全国に8万ある由。旅先で寄った神社を見る時の私なりのチェックポイントを整理してみた。

神社検定

富士山検定、城検定などもある。

富士山検定は今年で8回目。面白い問題が出るが、テキストを購入すれば合格できる。城検定も神社検定も同様、テキストの丸覚えで合格できるからやりたくないが、毎年、多数の受験者で賑わう。主催神社本庁。東京の会場、国学院。

神社に興味を持った時は国学院の通信教育を受けようとしたが、50代の働き盛りなのでそれはやめて、日吉Jの講義に週一回通った。古事記をテキストに神官たちの気楽な話で、同年輩の受講生たちとの交流が楽しかった。

だから、Jの歩き方も自己流だが。

I 神社を歩く

鳥居

地図で神社は鳥居で表されている。そのくせ、鳥居の起源、由来は「解らない」。



神明鳥居 (遠藤説 伊勢神宮系)

貫(ぬき)が柱から出していない
上部横柱が直線

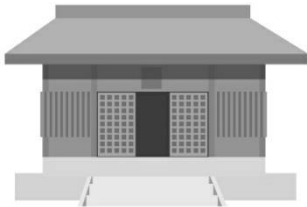


明神鳥居 (遠藤説 出雲大社系)

貫(ぬき)が柱から出ている
上部横柱が反っている

本殿

どなたがおわすかわからぬが(なにしろ八百万の神様がいらっしゃるのだから)、とにかく、賽銭を投じ、お参りする。



平入り 神明造 (遠藤説 伊勢神宮系)

屋根が面に見える「平側」に入口がある



妻入り 大社造 (遠藤説 出雲大社系)

屋根が三角に見える「妻側」に入口がある

Jが伊勢と出雲に大別できれば嬉しいのだが。出雲の神は諏訪に逃げるが、その守矢氏と共存する。悠々会に神社関係者はいるか？権上、守矢、秋和、高橋・・・。

切札、石津コンピューターに聞くとモリオカ兄が神官の筈、片桐兄が知ってる筈と云うので聞くと住軽

金卒業後通信教育で神官になったと。いつか、本人から話を聞く機会があればと。ついでに、片桐兄は病名不明のめまいに悩まされていると。

神社名 祭神名

百名山・百名城はある。百名社はあるか？

勿論、ない。しかし、「式内社」がある。延喜式（927年）に記載された2861社である。式内社巡りも定番だが、消えていたり、比定する候補が複数あったり、興味深い旅が出来る。「一の宮」巡りも人気のあるツアーだ。平安末かに定められた一の宮、二の宮・・・。私は二の宮探しの旅をしたかったが、東海道線の駅名でなじみ深い相模の二の宮を探訪して後が続かなかった。

祭神は無限にある。東郷J、乃木J、そして兎玉Jなど新しい方もいる。菅原道真の

天神様も新顔だし、帰化人の祀った八幡J、新羅J、高麗J、なども当時としてはニューフェイスだったのだろう。では、日本古来の神は？山であり、岩であり、滝などか？

そうだと言いきれれば・・・。とにかく日本の古社の周りには、古墳があり、縄文・弥生の遺物が多く出土する由である。

さて、歩きを再開しよう。

狛犬

犬だけでない。オオカミ（三峰神社）、ウサギ（調神社）、サル（津山中山神社）、ネコ（京都金刀比羅神社他）など。

ご由緒書きと御神籤とご朱印帳

御神籤を買う人、更にご朱印を頂く人は多い。しかし、ご由緒書きをお願いする人は少ない。ご由緒書きは大概の神社にあり、無料で頂けるのだが、知らない人が多い。ご由緒書きを頂くことを楽しみにしていて、今日のスピーチの目玉に据える積りだった。「現在、未整理だが1月10日までには何とか整理してご報告する積りだったが数多く皆様にお見せできるようには整理できなかった。一例として、愛宕J。間垣平九郎以外にも3人の兵士が階段を騎馬で上下したこと、終戦後、一部の軍人がゲリラ戦の為、結集したことなど。

しかし、由緒書きは現在、スマホで読める部分が多く、役割が減じた。

由緒書きを手当たり次第にファイルした一冊を回覧するので見本として一瞥ください。

じかんがあれば、コメントしたい由緒書きは月山J（唯一、入場料を請求された）、兎玉J（何故か唯一参拝を邪険にされた）、ハワイの石鎚J（唯一外国で参拝した。但し、ハワイには7社のJがあるとパソコン）

その点、ご朱印帳への署名・捺印はデジタルでなく、アナログの世界なので価値がある。

昔、藤木夫妻や近藤兄と旅を共にしたが、藤木夫人は途中ふっと姿を消す。何をしてるかと思うとスタンプを押している。今日のご出席とスタンプ帳のご持参を乞うた。一冊を回覧するので紛失しないようによく回覧願います。

御神籤 新聞切抜きコピーにあるように多様。貴船J。ここは昔から御池の水に浸して文字が出る魅力ある御籤だったが、今は、QRコード付きで、スマホをかざせば英語・中国語など数か国語が聞こえる由。御神籤販売業者が存在するので清貧な神社らしくない。

明治Jその他短歌のみで吉凶の記載が無い御籤もある。極めつけは**伊勢J**。神宮で神籤を探し、お札を書いている神官に場所を聴くと彼は筆を止め、厳かに「神宮には神籤はありません。皆様の運命を決めたくありません」と。

神社と初詣・祭・七福神

初詣では社頭に行列ができる。祭になると何処からか人が湧いてくる。特に祭りは過疎の地方でも凄い。吉川でも。須賀川、富山でも。相馬の野馬追祭りだと馬まで集まる。

祭探訪に目覚めたのは残念ながらつい最近だ。これから、精々、見に行きたい。

世界では？Tクラスの大西兄は布教でリオへ飛んだ。私は彼の宗教とは無縁だが、遠野の時も遊びに行ったので、リオもカーニバル見物がてら訪問した。流石、盛大なものだが、カーニバルには宗教色はないのだろうか？大西兄は最近帰国した。あった時に聞いてみよう。

外国の祭りをもう一つ。70歳の時に一橋山岳部OB6名ででキリマンジェロに登った。登山はケニアの重要な産業だから、ガイド、ポーター、コックなどが我々の3倍の人数がついたツアーになる。登頂を終え、お別れ会をした。我々は日本の山の歌を歌う。それに対し彼らが歌い、踊ったパフォーマンスは夕暮れ・山麓と舞台装置にぴったりで印象的だった。

七福神

神なのに七福神めぐりはほぼお寺さん巡りだ。お寺さんはお金儲けが上手だ。Jとお寺の際立った違いは、お寺は入場料を取るが、Jは取らないという事だ。

城びとアンバサダー

II 神社の資金繰り

初詣や、観光客が集まる神社ではない。我々の住まいから歩いて回れる近所の氏神様の話である。我々の年齢より遥か昔から今もこの地に現存している神社達の資金繰りである。

にも拘らず、神社のお金の話となると、「神社本庁」を知らなければならない。

神社本庁。全国8万の神社が加盟する「包括宗教法人」として1946年に設立された。この設立がGHQ占領に対する「レジスタン」という事に私は驚く。日本が無条件降伏して占領軍に何一つレジスタンがないことに他国に比較して不思議に思っていたからだ。GHQはJを母国の教会のように考え、Jが戦争を起こしたと考えていた。天才葦津珍彦は日本文化を守るため抵抗を続け、無事、神社本庁を設立したと読んだ。もう少し勉強しておく事実だ。

神社本庁は』その後何をしたか？先ず、紀元節復活しようとした。それは建国記念日として実を結んだ。次に、元号の法制化に取り組み成功した。

現在、新しい元号をいつ発表するかで論議があるが、元号そのものが必要か否かの議論はこの**めったに**

ない機会にも拘らず、見当たらない。1979年に元号法が出来たからだ。

次は、憲法改正だ。

これ等の活動を、良しとするか、否とするか？傘寿を越えた今、答えを出しにくい。

賛否を論じることをひとまず止めよう。やめて話を「Jの資金繰り」に戻そう。

神社本庁は、全国のJに対して「金」を配布するのか？収奪するのか？

神社本庁は伊勢神宮を本宗と仰ぎ、所属する神社の宮司任命権などを握る。関連団体に全国神社総代会、神道政治連盟、日本会議などがある。

ところが、神道政治連盟は1995年に解散届を国に提出。1997年に設立の日本会議は政治団体の設立届をせず、任意団体として20年間活動をしている。

と、いうことは、政治資金収支報告書提出の義務から逃れているのだ。

で、私など一般人には不明のブラックボックスの中にJの資金繰りはあるのだが・・・。

靖国J

最近、靖国Jの宮司が「今の天皇は慰霊の旅はするが靖国Jには来ない。」と不満を漏らし、辞職に追い込まれた。天皇が参拝しないのは12名のA級戦犯を靖国が合祀しているからだと承知の上の発言だ。しかし、合祀は靖国が独自に決めたことだ。何故、靖国はそんな独断専横が出来たのか。マルクスは云う。「下部構造は上部構造を規定する」靖国は金持ちなのだ。国や遺族会からの金を頼らなくても自分の土地、空中権で充分に独立採算を維持できるからだ。

最後にもう一度零細の神社の資金繰り

2016年神社本庁総合研究所が発行した「神社・神職の実態調査」の数字を島田裕巳氏の「神社崩壊」から孫引きする。

A 神社の最近の収入。 300万円未満 約60%

B 宮司の最近の年収 300万円未満 約60%

この数字は永い間、大きく変わらないのではないか？

不思議なのは、この永い間、消滅した神社が我々の周り見当たらないことである。

倒産・廃業をするJがないとは、Jの資金繰りはどうなっているのか？

零細企業の元経営者は、只々、不思議に思うのである。

以上